



2026年10月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社クリーク・アンド・リバー社
代表者名 代表取締役社長 黒 崎 淳
(東証プライム コード番号 4763)
問 合 せ 先 執 行 役 員 朽 尾 有 紀
(TEL:03-4550-0008)

2027年 2 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026 年 7 月 9 日に発表いたしました、2027年 2 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想と、本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2027 年 2 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異 (2026年 3 月 1 日～2026年 8 月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 31,500	百万円 2,550	百万円 2,500	百万円 1,600	円 銭 75.62
今回実績（B）	32,058	2,760	2,760	2,107	99.54
増減額（B－A）	558	210	260	507	
増減率（％）	1.8	8.2	10.4	31.7	
ご参考：前期第 2 四半期実績 (2026年 2 月期中間期)	28,092	2,080	2,053	2,186	103.37

2. 業績予想の差異の理由

当中間連結会計期間におきましては、引き続き主要なクリエイティブ分野（日本）及び医療分野を中心に業績が順調に推移し、2026 年 7 月 9 日に発表いたしました業績修正予想を上回っての着地となりました。なお、親会社株主に帰属する中間純利益が前回発表予想との乖離が大きくなっておりますが、これは株式会社 T&W オフィスを持株会社とする高橋書店グループの事業における季節的な要因によるものであり、当該影響を保守的に見込んでいたことによるものであります。

高橋書店グループは、手帳や日記、カレンダーなどの企画・編集・出版を主要事業としており、出版業界特有の商習慣により当第 2 四半期は出荷した商品の返品が集中する時期となるため、営業損益及び経常損益において一時的に赤字となっております。結果として、当中間連結会計期間におきましては税金費用が減少する影響を与えておりますが、通期では安定した収益確保を予想しており、第 3 四半期以降は税金費用の増加を見込んでおります。

なお、当中間連結会計期間の業績を踏まえ、2026 年 2 月期の通期連結業績予想及び配当予想に関する修正を発表いたしました。詳細につきましては、本日付け「業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上